

2012/07/12

22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関する  
マスタープラン策定の方針素案

荒川 泰彦

22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針に関する素案を以下に示す。

1. 目的・位置づけ

- (1) 大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン（以下、マスタープラン）は、科学者コミュニティの代表としての日本学術会議が主体的に策定するものであり、学術全般を展望・体系化しつつ、各学術分野が必要とする大型研究計画を網羅するとともに、我が国の大型研究のあり方について、一定の指針を与えることを目的とする。
- (2) 上記の観点から、マスタープランとして、学術分野のビジョン・体系に立脚した大型施設計画・大規模研究計画（以下、学術大型研究計画と呼ぶ）および、諸観点から速やかに予算化すべき大型施設計画・大規模研究計画（以下、重点大型研究計画と呼ぶ）の二つの計画を策定する。なお、学術大型計画の策定にあたっては、学術分野のビジョン・体系化のために、学術研究領域をあらかじめ制定しておく。
- (3) マスタープランの策定においては、会員ないし連携会員や分野別委員会の協力を得るとともに、学協会との連携を積極的に推進する。これにより、研究者コミュニティの意思疎通を図り、日本学術会議の強化に貢献することを期待する。

2. マスタープランの策定

1 で述べた目的等の達成に向けて、以下の方針で、学術大型研究計画と重点大型研究計画の二計画で構成される 22 期マスタープランの策定を行う。

(1) 学術研究領域の制定

- (a) 分野別委員会は、「日本の展望－学術からの提言」等を踏まえ当該分野の将来ビジョンを俯瞰的に描き、学術の体系化をはかるとともに、学術研究領域を制定する。

- (b) 学術研究領域の数は、各分野 10 以下とする。ただし、分野や部をまたがる融合学術領域については、別途協議する。
- (c) 必要があれば、あわせて学術研究小領域として小項目も示すことができる。

## (2) 学術大型研究計画の策定

### (a) 規模

- ① 学術大型研究計画は、実施期間 5-10 年、および予算総額数十億円超の予算規模を有する、大型研究施設計画もしくは大規模研究計画とする。各学術大型研究計画は、2. (1) で定めた学術研究領域のいずれかに分類されるものとする。
- ② 総数は 200 件程度とする。

### (b) 策定プロセス

- ① 公募により策定する。
- ② 提案者は、(i) 研究・教育機関長もしくは部局長等、(ii) 学術会議会員、連携会員、(iii) 学協会長等、のいずれかとする。また、各提案として、会員 1 名を含む会員もしくは連携会員 3 名以上のサポートを得ることを条件とする。
- ③ 分野別委員会または部では、一定割合（～200／応募総数）の絞り込みを行う。ただし、最大数を 30 件とする。
- ④ 本分科会は、上記結果を参考にして、総数 200 件程度の学術大型研究計画を策定する。

## (3) 重点大型研究計画の策定

### (a) 規模

- ① 学術大型研究計画の中から、25 件程度を選択する。

### (b) 策定プロセス

- ① 分野別委員会もしくは部は、予備選考を行い、全分野総計 100 件程度となるように、一定割合まで絞り込む。
- ② ①の予備選考を踏まえて、新たに設置する審査小委員会（分科会レベル）において、ヒヤリングを含め審査を行い、25 件程度を選ぶ。審査小委員会は、本分科会委員、分野別委員会委員長、本分科会が必要と認めた会員もしくは連携会員で構成される。
- ③ 審査小委員会の決定を参考にして、本分科会は、最終的に諸バランスを考慮しつつ、重点大型研究計画を策定する。
- ④ 選ばれた重点大型研究計画を、7 カテゴリー程度に分類するものとする。

る。

- ⑤ 評価項目は、計画の学術的価値、計画の実施主体、共同利用体制の充実度、計画の妥当性、緊急性、戦略性、社会や国民の理解、などの観点から行うものとする。
- ⑥ 関係省庁との連携  
重点大型研究計画の選定のミッションを明確にするために、文部科学省や関係省庁との連携のもとで審議を行うこととする。

### 3. 課題

既に実施中の研究のフォローアップ、文部科学省等との合意、各部や分野別委員会の協力、評価軸、大型計画を一般には必要としない第一部への配慮、など、多数有り。

### 4. 今後のスケジュール案

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 2012年6月   | 方針および決定プロセス案等の検討         |
| 2012年7-8月 | 各部の夏期部会で議論               |
| 2012年9月   | 方針および策定プロセス案の決定          |
| 2012年10月  | 総会においてアナウンス              |
| 2013年1月   | 学術研究領域の制定                |
| 2013年2月   | 学術大型研究計画の公募開始            |
| 2013年3月   | 学術大型研究計画の公募締め切り          |
| 2013年6月   | 学術大型研究計画の策定              |
| 2013年12月  | 重点大型研究計画の策定              |
| 2014年2月   | 科学者委員会・幹事会の審議、必要があればパブコメ |
| 2014年4月   | 総会へ報告                    |